


〈令和3年度〉ミライカナエル活動サポート事業 協働コース（行政以外との協働）

団体名	NPO 法人湘南クリーンエイドフォーラム
協働団体名	株式会社日本環境設計
事業名	海ごみ再利用で持続可能な未来創り
事業期間	2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日
事業費	1,737,517円（うち藤沢市補助金828,000円）
事業の目的	
<p>当該事業は市民によるビーチクリーン活動で海洋プラスチックごみ問題の改善を図ること、普及啓発活動で市民にこの問題を自分事化させライフスタイルの変容を促すこと、清掃活動で回収したペットボトルごみをリサイクルするためのサプライチェーンを構築し、地域が資源循環型社会へ移行するキッカケを作ることを目的としました。</p>	
事業の内容と成果・効果	
<p>【ビーチクリーン事業】</p> <p>■調べる ビーチクリーン</p> <p>ごみを拾い、種別して動向を調査する「調べるビーチクリーン」を事業期間中に毎月辻堂海岸で実施し、地域のごみ問題の改善を図りました。併せて、参加者のライフスタイルの変容を促すことを目的にした「ふりかえり」というグループワークプログラムを実施して参加者への普及啓発にも注力しました。この活動は参加者同士が交流するキッカケとなり、コミュニティーの形成にも繋がっています。</p> <p>■早朝のビーチクリーン活動</p> <p>月例の「調べるビーチクリーン」活動でペットボトルごみの回収が思うように進まなかったため、2021年12月から「調べるビーチクリーン」活動とは別途、事務局が主体となって辻堂海岸での早朝ビーチクリーン活動を開始しました。回収したペットボトルごみを分別し、軽く水ですすいだ状態で一時保管し、ある程度溜まった段階で保管業務委託先へ引き渡していきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーン参加者 累計 382名 ・ごみ回収量 64袋（20L換算）・ペットボトル回収数 約1,064 <p align="right">  (写真上)調べるビーチクリーンでのグループワークの様子 </p> <p>【普及啓発事業】</p> <p>2022年3月、ごみ問題と資源循環型社会の普及啓発を目的として「海ごみ問題スタディーツアー」を開催しました。JR 辻堂駅周辺でタウンクリーンを実施したのち、バスで協働団体のケミカルリサイクル工場へ移動しました。リサイクル施設の見学と有識者による講演を行い、その模様を動画撮影してYoutubeで生配信しました。実際の参加者数を新型コロナウイルス対策として当初の半数に制限しましたが多くの方に共有出来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：27名、 ・Youtube視聴者数：188名 <p>【リサイクル事業】</p> <p>2022年3月、これまでに回収したペットボトルごみを保管場所から、協働団体が指定する一次リサイクル工場へ運搬しました。一次工場での計量結果は20kgで、3月末に二次工場へ輸送しフレック化→レジンペレット（再生原料率10%の凡そ170kg）へとリサイクルする予定です。</p>	
今後の取り組み	
<p>限定的なビーチクリーン活動だけでは社会情勢や気象条件等の外的要因により、リサイクルに足るペットボトルごみの回収が困難であることが判かりました。リサイクル事業については日時と場所を機動的に変えるような回収スキームを開発しプロジェクトをリビルドしていきたいと考えております。</p>	